

対処すべき課題

2023年6月23日

株式会社 **ダイセル**

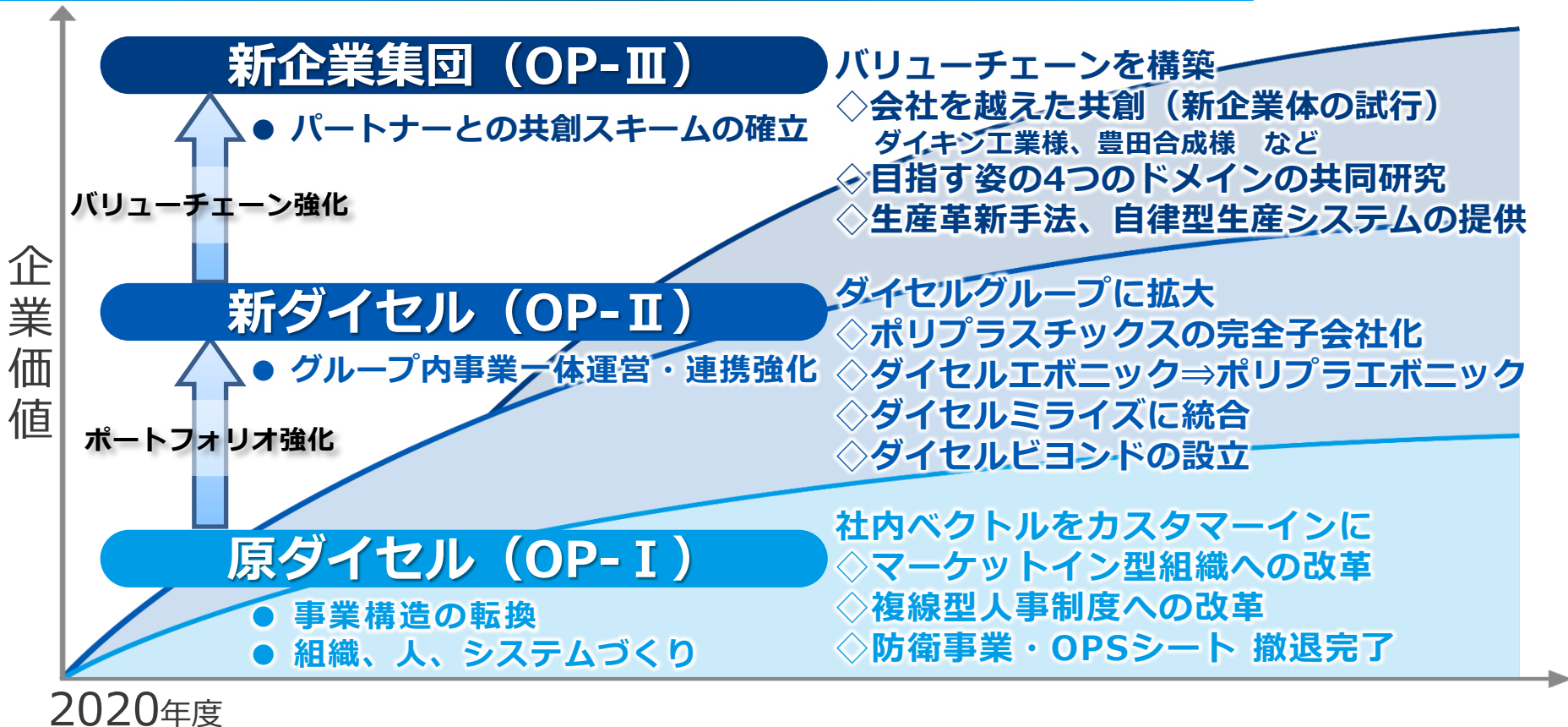
2024/3期 業績予想



単位：億円	'23/3実績	'24/3予想	'26/3見直し中期	'26/3当初中期
売上高	5,380	5,720	6,600	5,000
営業利益	475	530	820	700
営業利益率	8.8%	9.3%	12.4%	14.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	407	440	580	480
EBITDA	791	890	1,360	1,160
ROE	14.3%	14.5%	17.1%	18.0%
ROIC	5.3%	5.6%	9.3%	10.0%
ROA	5.6%	5.7%	7.7%	8.0%

- アセテート・トウの既存設備フル活用による増産と価格改定
- バランスシート拡大を抑制し、2027年3月期にはROIC 10%を目指す

Accelerate2025 の進捗



ポリプラスチックとのシナジー



●増設投資効果 '31年3月期ターゲット

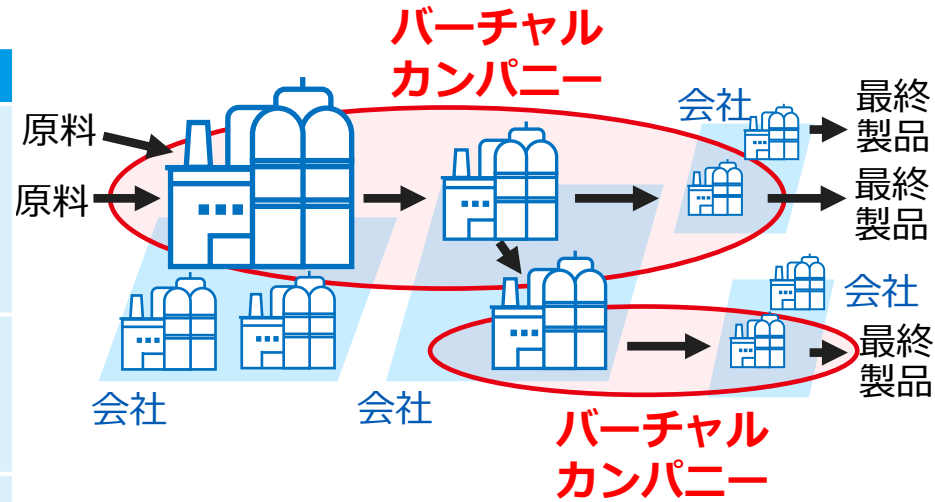
※稼働からの累計効果 (EBITDA)

投資	当初計画		今後		効果※	
	運転開始 (年度)	増産能力 (MT/年)	運転開始 (年度)	拡販戦略	'26/3 (億円)	'31/3 (億円)
POM	2025	90,000	2024	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国での増設実施で内需に対応 ✓ 原料に次世代メタノールを活用 ✓ 医療用途等、自動車以外の新規用途／市場開拓 	160	780
		60,000	2025			
LCP	2024	5,000	2024	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5G ミリ波対応による需要拡大に向け拡販、トップシェア維持 ✓ 5Gの複合材料（無機とのハイブリッド）による新規市場拡大 	50	360
		5,000	計画中			
COC	2023	20,000	2024	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 包装、医療分野における需要拡大 ✓ 特有のリサイクル性を活かしたEU諸国への拡販 	90	640
合計					300 当初中期200	1,780

サプライチェーンからバリューチェーンへ

●会社とサプライチェーンの最適解

切り口	キーワード	メリット
生産	連続点管理 小ロット化 停止再開期間短縮 生産計画の同期	<ul style="list-style-type: none"> 品質向上 在庫削減 省エネルギー
開発	共創	<ul style="list-style-type: none"> 開発期間短縮 開発コスト低減 顧客評価頻度低減
物流	3PL リードタイム短縮	<ul style="list-style-type: none"> 外部倉庫削減 構内物流削減 在庫の適正化
エネルギー	負荷平準化 エネルギー>生産 の能力差解消 CO ₂ 還元	<ul style="list-style-type: none"> 自己託送の加速 工程の同期による エネルギーの 全体最適実現

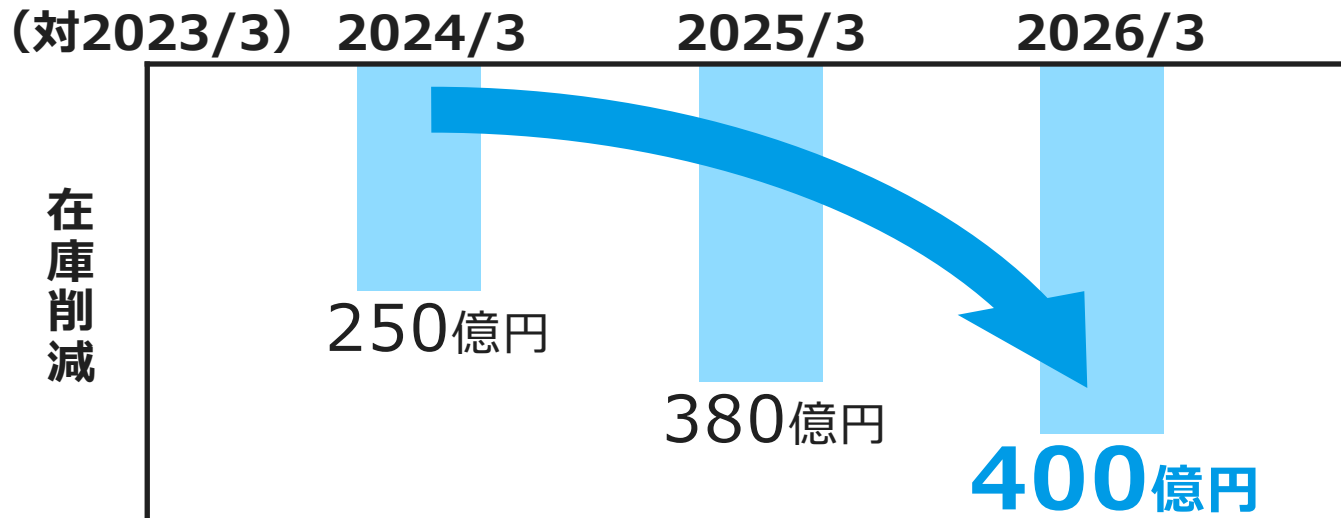


企業を超えたサプライチェーン
連携のポテンシャル

在庫**20%**削減
GHG排出量**30%**削減

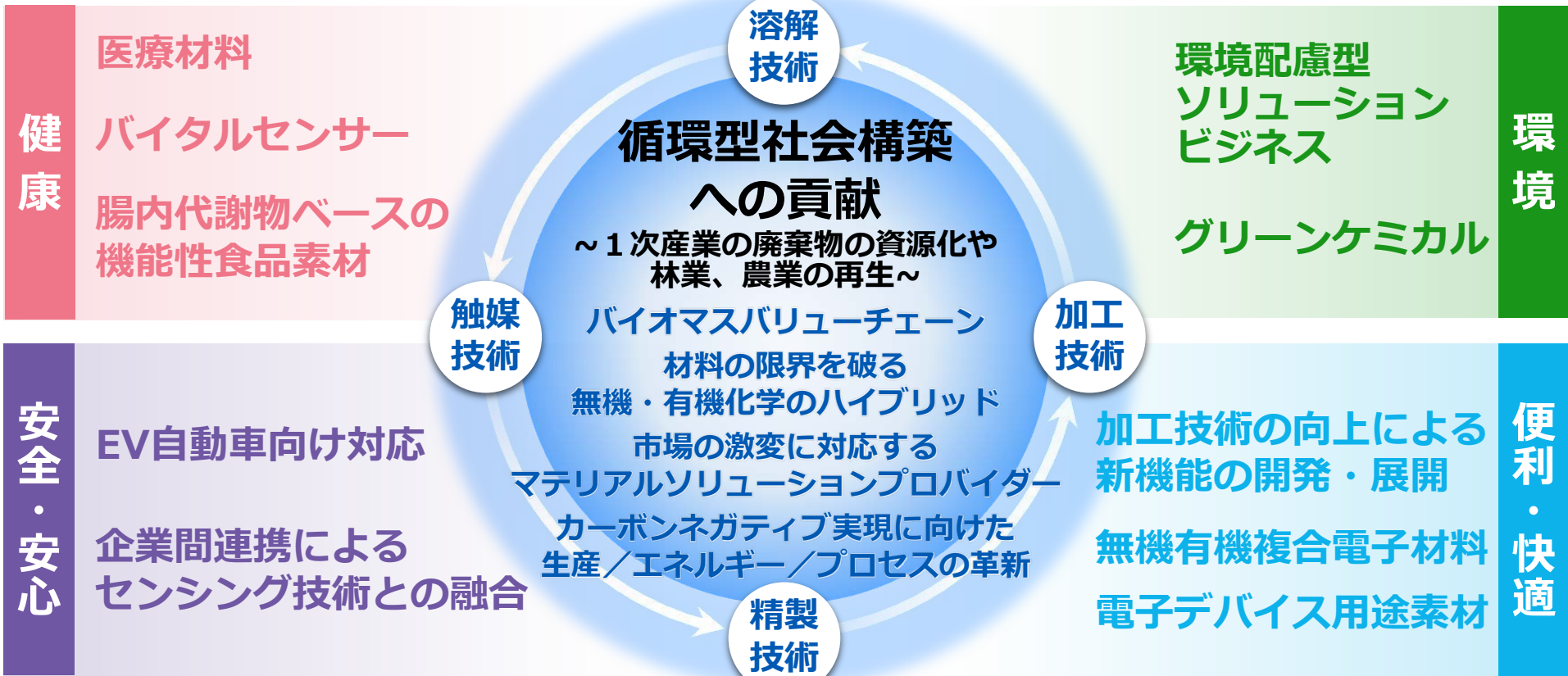
バリューチェーンでの効果（物流改革の場合）

- 運転資産を適正化し、投下資本効率の改善によるROICの向上



- オンライン分析による品質の連続点管理と小ロット化、移動ロット化による物流の整流化
- 自律型生産システムでの生産計画の最適化、品種切替期間の短縮
- プロセス革新技術の導入による品質向上、原価低減と原材料在庫の大幅圧縮
- 生産の現地化による製品輸送のリードタイム短縮

新企業集団で目指す注力領域



機能の意識によって加速する新事業化



健康

新規投与デバイス
アクトランザ™ ラボ



'22/6~国内販売

日本・欧米で医療機器として事業展開を目指す

ファインセルローズ



'23/5 G7広島サミットへ提供
海洋生分解性酢酸セルローズ樹脂

'31/3売上ターゲット400億円超

希少金属回収

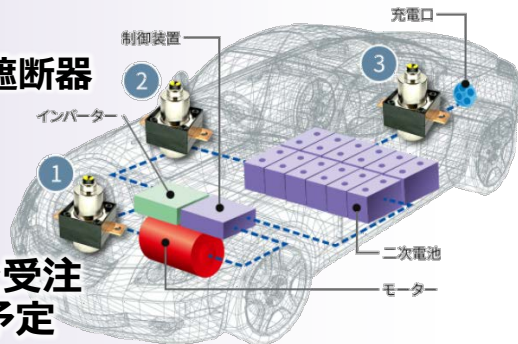


燃焼させずに金を
回収できる分離膜を開発

環境

安全・安心

EV用
電流遮断器



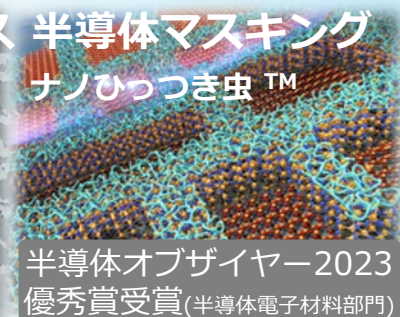
欧州顧客向けを受注
'24年夏上市予定

'31/3売上ターゲット400億円超

パワーエレクトロニクス 半導体マスキング
Ag-Si合金焼結接合 ナノひっつき虫™



Si含有量増加によるコスト
ダウンと性能向上を達成



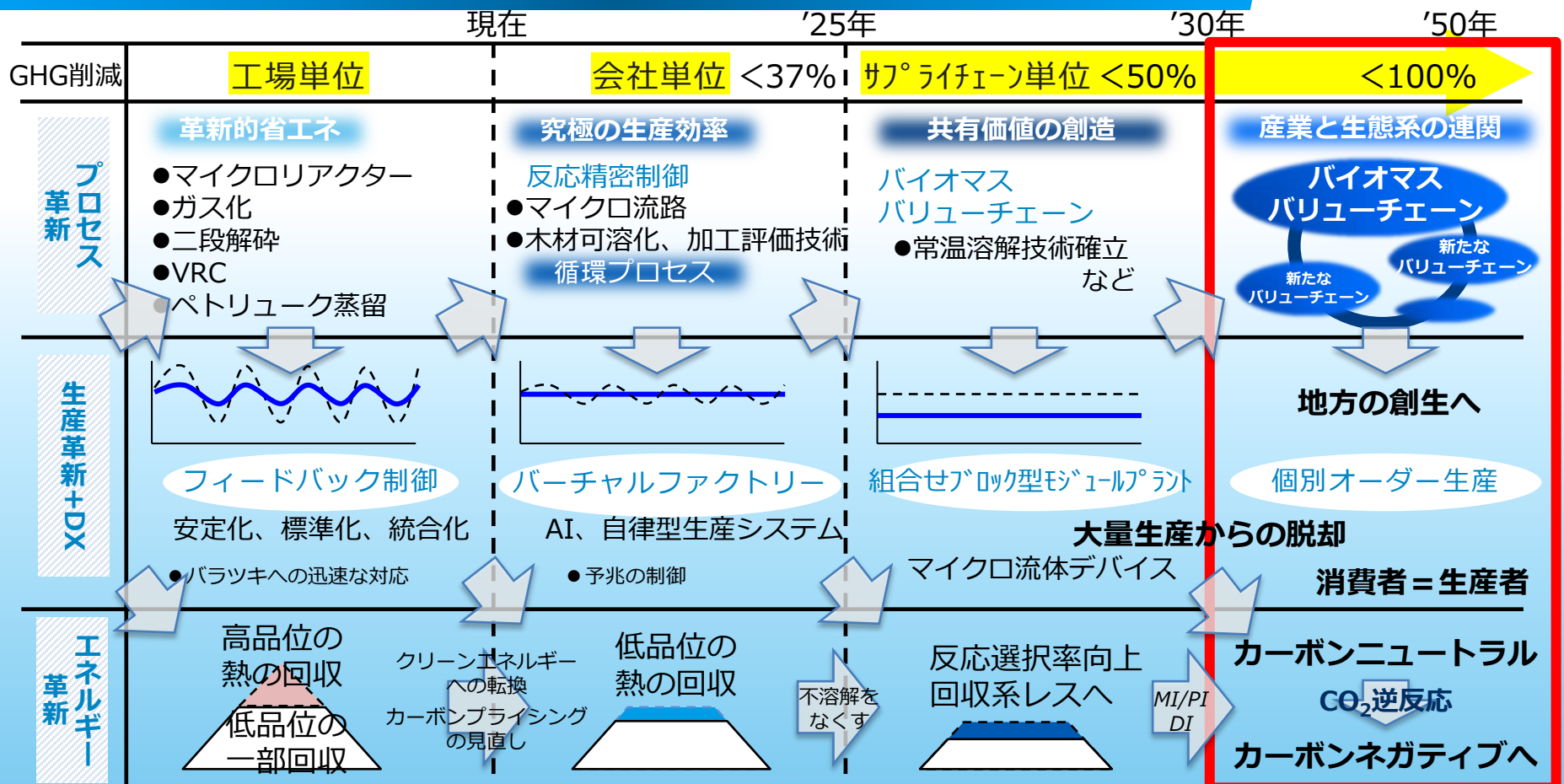
半導体オブザイヤー2023
優秀賞受賞(半導体電子材料部門)

便利・快適

'31/3売上ターゲット500億円超

カーボンニュートラル/ネガティブ実現の道筋

～技術革新によるエコノミーとエコロジーの両立～



大量生産から 必要とするモノだけを作る生産方式

既存設備における技術改善

エネルギー多消費

大量生産
ex.コンビナート

重厚長大な設備
(大規模精製工程)

目的のモノ
だけを作れない
(低効率)

温度・濃度
分布大

あるべき製法を目指した技術革新

必要なときに
必要な場所で生産

マイクロ化

目的のモノ
だけを作る
(理想的な反応)

小型・卓上化
(精製工程不要)

温度・濃度
分布極小化

必要となる技術

- ・ 流路内の詰まり ⇒ とかす技術
- ・ 複数系列の流量制御 ⇒ 精密機械設計技術
- ・ 会社を越えたサプライチェーンへの展開 ⇒ 30種でモジュール化



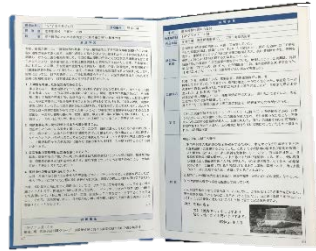
- 大規模工場が不要 ⇒一極集中から分散へ
- 大規模物流が不要 ⇒移動しながら製造も可能
- プラントの危険性回避⇒極少滞留量のため安全性増大

安全・品質・コンプライアンスを確固たるものにする

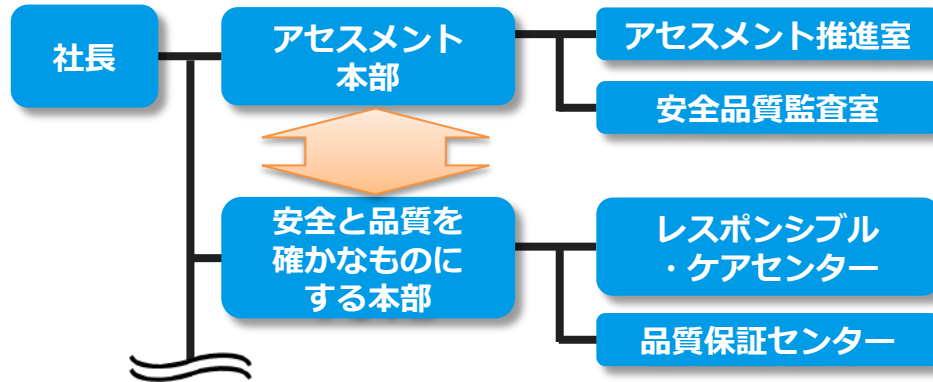
● UL認証に関する不適切事例を受けて

- 倫理規範・行動指針を新規制定
「企業人の前に良き社会人たれ」

- 過去50年の重大事例・通達
の手帳化
(常時携行し風化を防ぐ)



- 監査機能と実行機能の明確化



- 複線型人事制度の活用
～ワークスタイルの変革～

- マイライフプラン、キャリアチャレンジ
- マネジメント職とプロフェッショナル職

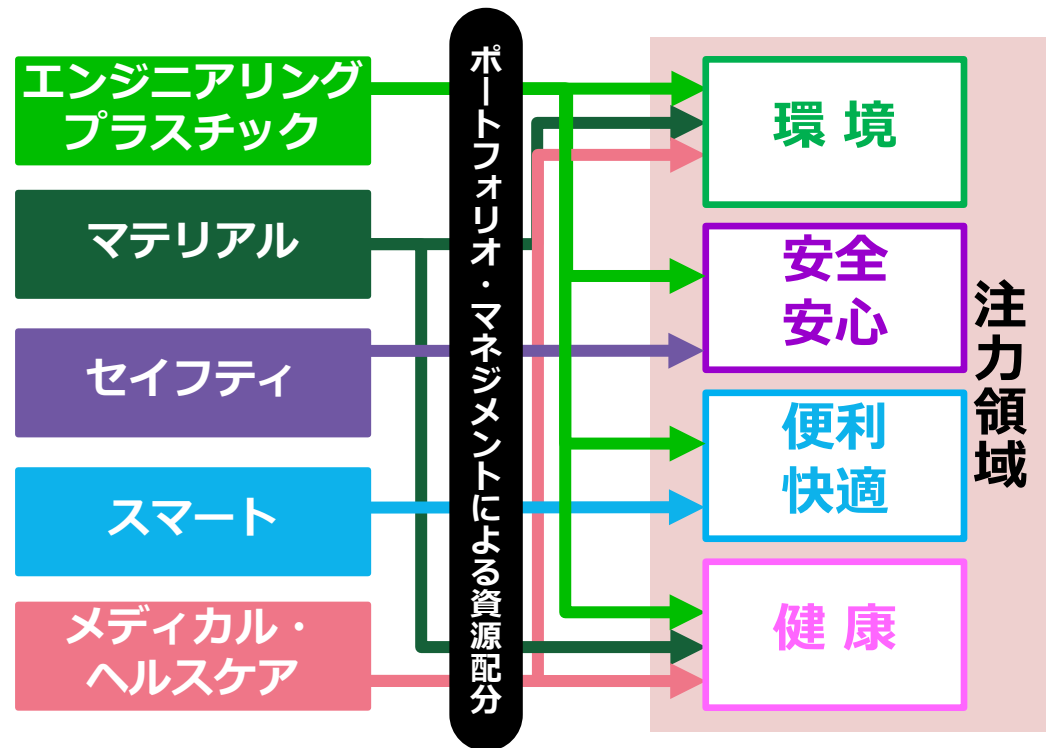
- とにかくみんなで話してみよう会

- 全拠点を回り、直接対話を進めている



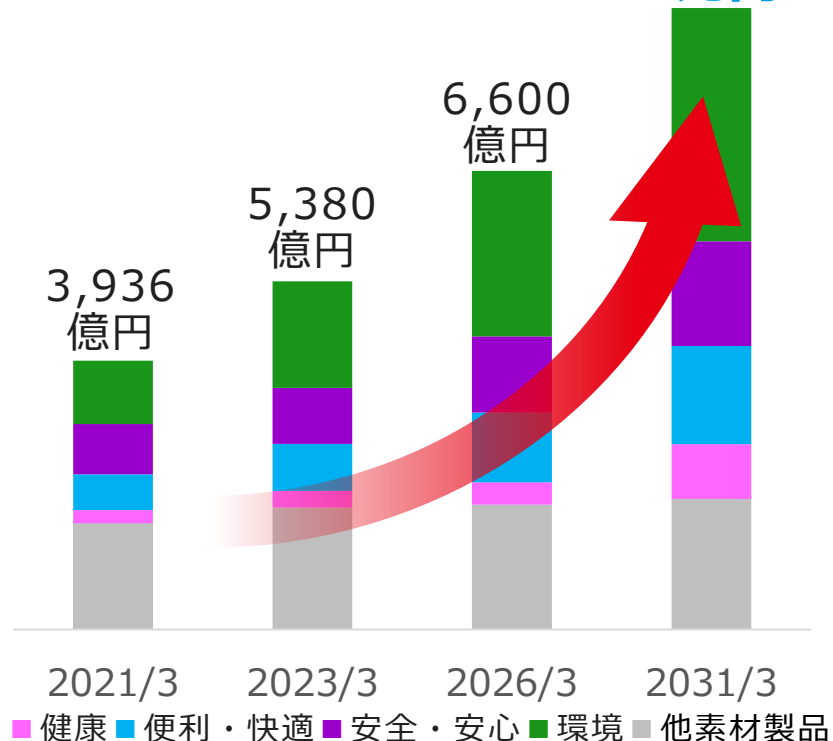
目指す収益構造

【各事業と注力領域】



【目指す収益構造（売上高）】

1兆円



- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

本資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。